

## 第21回 錦帯橋さくら守 活動実績

平成26年12月11日

### 1 活動日及び参加者名

12月8日(月) 09:30~13:00

正本(良) 正本(愛) 児玉(廣) 杉山 進藤 河本 児玉(加) 島崎 田中  
大原 佐古(新規加入) 志賀(新規加入) 以上合計 12名

### 2 実施作業

(1) 今月の活動予定、作業実施上の留意事項等の説明

(2) 作業内容

地区名	樹木番号	
	寒肥 枯枝・病気枝の剪定	備考
公園内	合計約100本	施肥・菌糸類の除去・枯枝及び病気の枝の剪定作業を実施した。



今月の活動メンバー



施肥活動の状況



ちょっと休憩

### 3 今月の気になる木

動物、植物を問わず種の継承はあらゆる生き物にとって最大の命題である。さくらもまた次世代を作ろうと美しい花を咲かせる。今月は花のエネルギーを少しでもお助けしようと肥料を施した。樹木の周りに穴を掘り円周上に埋める作業である。公園内の平らなところは人の足で踏み固められ多少の固さはあるが必ず樹木のエネルギーとなる栄養を吸収してくれるものと信じる。

しかしながらアスファルト舗装された道路沿いのさくらは根元だけ露出しているので効果のほどはあまり期待出来ない。とはいえ相当の樹齢で長い間楽しませてくれている不思議さを持っている。これらの木々は根元だけでなく枝の管理を細かくする必要があるろう。

#### 4 特異事項

施肥作業中は肥料のことに専念しようとしてもやはり枯れた枝や根元から枯れた樹木、菌糸類が目立つ枝等が木になりつい手を出してしまうことがある。今回も数は少ないが倒木の危険性を感じる個所を切り取った。しかしながらひとつの作業を円滑に進めるためにはそのことだけに専念し気になることはメモして処理は市側にお願いすることも必要であろう。

袋詰め肥料は重量がある。これらの運搬用車両は不可欠であり、きらめき財団からの助成金によりリアカーと運搬車を会の備品として購入した。今回の使用でその効果を確認することが出来た。今後も使用する諸道具の運搬の手助けとなることであろう。

9月に実施した講座の効果であろう。受講した二人の方が新たに加入された。市民を対象とした企画の有効性が確認出来た証しであり今後とも継続して考えなければならぬことである。

#### 5 来月の予定

引き続き施肥作業の予定

- (1) 場 所 ロープウェイ駐車場 公園内 錦帯橋河畔
- (2) 日 時 1月12日(月、祝) 09:30~15:00